

# 「がんばり」と「やさしさ」があふれる学校づくりをめざして

下関市立向山小学校

## 学校運営協議会について

### ① 実施回数

- ・向山小学校学校運営協議会 年間2回（5月、2月）
- ・向洋中学校区小中合同学校運営協議会 年間2回（11月、2月）
- ・ユニット型校内研修会 年間3回（6月、10月、1月）
- ・熟議 年間3回（5月、10月、2月）

### ② 主な協議内容

- ・学校課題の解決
- ・学力向上への取組



【校内推進委員会での熟議】

## 特色ある活動

### ◆ 向洋中学校区での合同実践

- ・「交わそう すてきなあいさつ レベル4」を合い言葉に小中共同取組として「朝の合同あいさつ運動」を実施しています。毎月25日（ニコニコあいさつの日）に向洋中学校生徒会執行部の生徒たちが来校し、正門付近で本校児童と一緒にあいさつをしています。安心メールで保護者や地域にも発信し、すてきなあいさつの輪を広げています。

### ◆ 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組

- ・向洋校区でめざす子供像を「ふるさと下関を愛し、夢の実現に向かって努力し続ける子」とし、身に付けさせたい力と小中学校の学習活動を一覧とした「地域連携カリキュラム」を作成しています。それを基に各自治会や向洋地区スポーツ振興会、向洋地区まちづくり協議会と連携、協力を図りながら、児童の地域行事への参加を促しています。地域行事を通して児童と地域のつながりを深め、児童が地域の良さに気づき、地域に貢献しようとする態度の育成を図っています。



【まちづくり協議会主催の門松づくり】

## 来年度に向けて

小中合同学校運営協議会において、小中連携・地域連携の推進による教育力の向上について熟議をしました。子供たちの社会性を育むコミュニティ・スクールの在り方について話し合う中で、来年度における梅光学院大学のゼミとのタイアップが決定しました。ゼミ生と一緒に、向洋地区の魅力、そして、その魅力をいたしたコミュニティ・スクールの在り方について探りながら、「ふるさとを愛する心」のさらなる育成に努めたいと思います。

## 「ふるさと下関を愛し、夢の実現に向かって努力し続ける子」の育成を目指して

下関市立向洋中学校

### 学校運営協議会について

本校は下関市の中心に近い丘陵地帯にあり、15の町を校区としている。生徒数は近年減少傾向にあり、向山小学校の児童のみが本校に進学している。周囲には徒歩圏内に複数の高等学校、大学、体育施設をはじめとする公共施設があり、交通至便で周辺環境は良好である。

保護者や地域は協力的で、15年以上前から保護者がPTAのOB会を結成しPTA活動に協力していただいている。昨年開校60周年を迎えたことにより同窓会を中心とする向洋中学校出身者の気運が高まって学校支援を積極的に行おうとする雰囲気醸成されてきた。

向洋中学校と向山小学校の9年間の子供たちとの関わりの中で、向洋校区でめざす子ども像を「ふるさと下関を愛し、夢の実現に向かって努力し続ける子」とし、小中連携も積極的に行い、年間を通じて様々な活動を行っているが、前述の生徒数の減少等により、様々な問題も出てきている。学校運営協議会は、各学期に1回、小学校との合同開催を年間1～2回のペースで行っており、地域で子供たちを育てようという意識をもって話し合いを重ねている。



### 特色ある活動

小中9年間の学習活動の中で、生徒に身につけさせたい力として、「伝え合う力」「感じる力」「継続する力・自律する力」の3つを定め、小学校・中学校の共通取組事項として、あいさつに力を入れている。「交わそう すてきなあいさつ レベル4」をキャッチフレーズに取り組んだおかげで、地域からも小中学生のあいさつには高評価をいただいている。

また、中学校では、生徒会活動を中心に、学校運営のキーワードを「全員で、主体的に、最後まで」とし、様々な活動に取り組んでいる。特に、運動会・文化祭・生徒総会・全校集会など、生徒一人ひとりが活躍する場を積極的に設定し取り組んでいる。

生徒のボランティア活動への興味関心も高く、地域にある大坪八幡餅つき、神輿担ぎ、公園でのラジオ体操、下関海響マラソンのランナーへのサポート活動に参加したり、門松を地域の方と一緒に作成し、向洋地区内の9つの公共施設に寄贈したりしている。



地域の方を中心とした活動としては、技術・家庭科の授業支援がある。具体的な技術指導や見守りを行うことで、充実した取組を行うことができています。また、進路選択を控えた3年生一人ひとりに懇切丁寧に面接指導をしていただいた。アドバイスの視点は、「元気のよいあいさつ」「きちんとした礼」「元気と自信をもつこと」。教員以外からのアドバイスなので、生徒達には新鮮かつ緊張感をもって受け止めることが出来た。

### 来年度に向けて

開かれた教育課程の実現を目標に、来年度は技能教科や総合的な学習のみならず、他の授業や授業以外の活動の協力体制を築いていくとともに、中学生が地域に出て行つての活動や関わり、ある意味地域の伝統の継承にも役だっていきたいと考えている。

また、卒業生をはじめとして保護者や学校周辺に住んでおられる大人の方々が中学校への関心が高く、なんらかの支援の申し出や、空き教室の有効活用などの提案をいただいているので、それらに対して一つ一つ丁寧に対応していきたい。